

令和6年度 建築設備技術者協会におけるBIMの取り組み

2025.3.27



技術委員会 BIM-WG

建築設備技術者協会におけるBIMの取り組み

「JABMEE VISION 2030」における

JABMEEが取り組む建築設備の課題

技術委員会傘下に
課題に対する8つの技術WGを設置

JABMEE VISION 2030

建築設備技術者協会の中長期ビジョン
— 2030年へ向けた挑戦 —

一般社団法人 建築設備技術者協会
2022.8 改訂

JABMEE

- 1) ZEB WG
- 2) BCP WG
- 3) 健康 WG
- 4) スマートコミュニティ WG
- 5) ICT WG
- 6) BIM WG**
- 7) 建築ストック WG
- 8) シミュレーション WG

■ JABMEE BIM-WGの概要

- 全14名
- 設計事務所、ゼネコン、サブコン、ビルメンテ、メーカー、学識
- 年4回開催（2024年度 5/28、8/7、12/13、2/6）

毎年開催される協会会員向けセミナーイベント

「建築設備士の日」（参加者 **173名** うち会場136名）

にて、技術委員会報告としてBIM-WGの活動を報告



JABMEE BIM WGの目的・活動内容

■ 目的

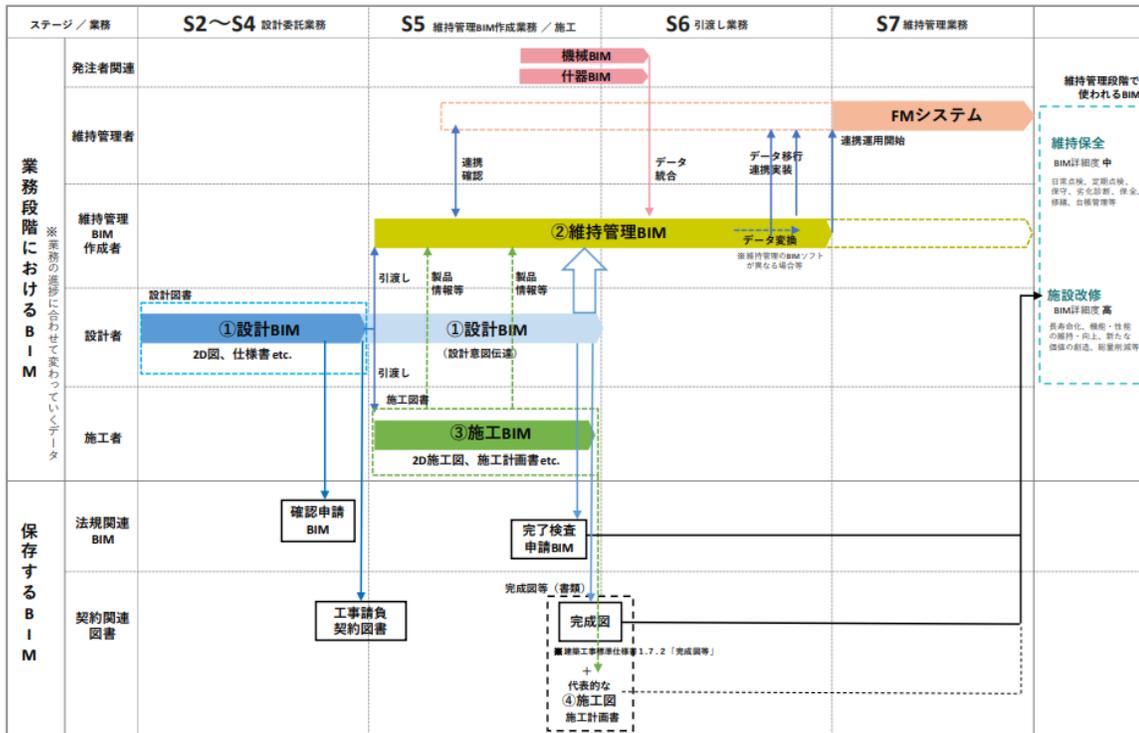
- ✓ BIMは、建物を構成する部材・仕様・価格維持管理情報などデータを一元管理し、発注者・設計者・監理者・施工者・建物維持管理等が情報を共有できる手法であり、建築設備分野でのBIMの普及、活用推進を目指す。
- ✓ BIMに係る建築設備界の知見を取りまとめるとともに会員からのデータ収集に努め、行政に伝えていくことに積極的に取り組む。

■ 活動内容

- ① 標準化TF設備情報検討チーム、デジタル社会に向けた公共建築工事標準仕様書のあり方に関する検討会との連携
- ② 営繕BIMモデル及び営繕BIMテンプレートに関する意見交換
- ③ 設備に関わる維持管理BIMの推進
- ④ 設備系協会・学会とBIM活用事例に関する情報連携
- ⑤ 建築設備技術者会議や'建築設備士の日'記念事業、メルマガなどでのBIM調査活動発表

維持管理・運用BIMに関する他協会との連携

6-3. 維持管理に引き継ぐBIMデータについて



【凡例】

①設計BIM (設計者) : 確認申請・完了検査申請することができる ※BIMモデルの詳細度は、S4レベル同等	③施工BIM (総合図または総合BIMモデル) (施工者) : 建築詳細図、躯体図、主な機器を入れ込んだもの ※詳細度は、S4レベルと大きくは変わらない
②維持管理BIM (維持管理BIM作成者) : 維持管理に必要な内容は発注者による ※機器表 (製品情報等) を反映	④施工図 (施工者) : 主な施工図 ※特記仕様書にて指定 ⇒ 仕様がわかる ⇒ 製品情報がわかる

出典：設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会 (第1版より)

全国ビルメンテナンス協会/維持管理・運用BIM/設計指針WG との連携

1. 設計設備BIMに含まれるプロパティ情報の活用可能性について

- ・ 設備維持管理に必要なプロパティ情報の整理
- ・ BLCJのBIMオブジェクト標準の活用検討
- ・ 積算できる維持管理業務発注仕様書作成の視点

2. 維持管理・運用BIM作成コンサルタントの確立

- ・ ステージS6を見据えた維持管理のEIR (発注者情報要件)、BEP (BIM実行計画) を作成する人材育成研修体制の確立

営繕BIMモデル（設備）に関する意見具申

営繕BIMモデルを対象にJABMEE BIM-WGにて意見交換を行い具申

主な意見

1. 干渉チェック実施手順関連

- ・干渉チェック対象箇所増への懸念（設計者の目的と発注者指示の不一致）
- ・設計進捗にあわせた**EIR、BEPの見直し機会**の要望

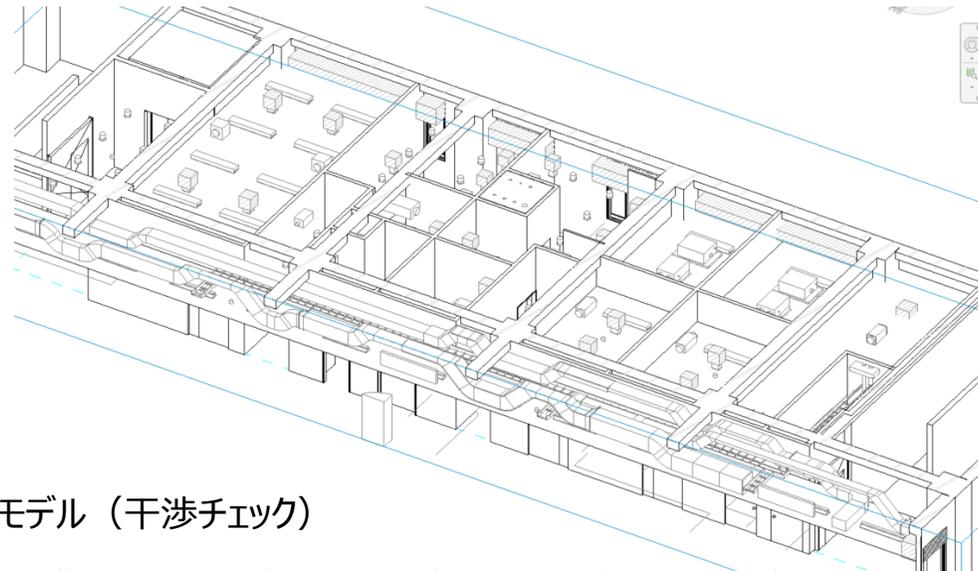
2. 実施設計図書関連

- ・3Dモデルで干渉チェックし、上下に収めた設備オブジェクトを**2D・PDF化すると重複し見えない**ことがあり、敢えてずらす調整作業等が発生する。
- ・設計時の干渉チェック作業効率にはカラー表示が不可欠。ただし、**2D・PDF化が白黒出力では見えない**。
- ・機器表の情報がソフト指定になるのではないか。

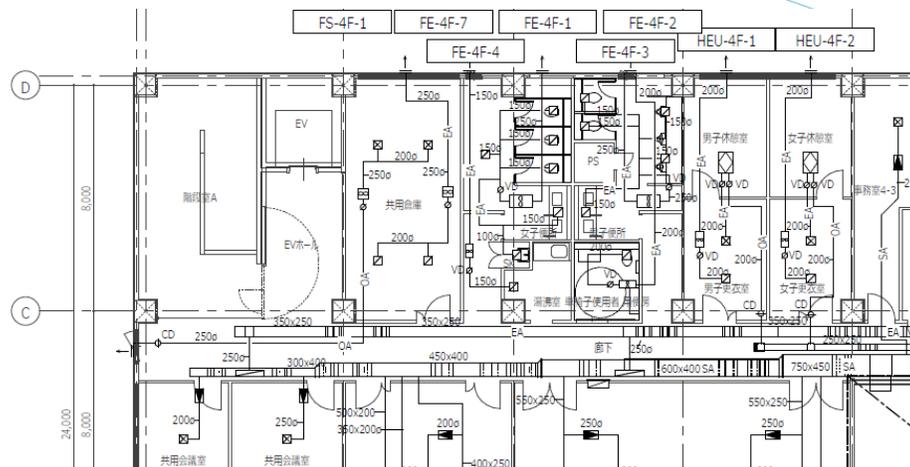
3. その他

- ・推奨項目のうち、干渉チェック、情報連携的に優先度が低い項目がある。

など



3Dモデル（干渉チェック）



2Dモデル（成果物）

今後の予定

1. 建築BIM推進会議への参加 / 委員の派遣(積算部会・標準化タスクフォース)
2. 設備系協会・学会とBIM活用事例に関する情報連携を行う
3. BIMを利用したシミュレーション連携・省エネ法等のエネルギー計算連携・運用管理効率化の事例の収集・紹介
4. 他協会と連携し、維持管理・運用フェーズでの建築BIM活用の検討